

受験 番号	
----------	--

2013年度

入学試験 社会問題

注意 答えはすべて解答用紙に書きなさい。

1. 次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。

昨年8月、環境省は絶滅のおそれのある野生生物を調べた「レッドリスト」を見直し、ニホンカワウソを「絶滅危惧種」（絶滅のおそれのある生物）から、「絶滅種」に指定するなどした改訂版を公表しました。

ニホンカワウソは、かつては全国の川辺に生息していたイタチ科のほ乳類です。体長は1メートル前後で、二本足で立つ愛きょうのある姿が親しまれてきました。昔話の中には、人を化かした動物としても登場します。しかし、毛皮をとるために捕らえられ、さらに開発などによる環境の変化も加わって、急激に数を減らし、高知県で1979年に目撃されたのを最後に見つかっていません。

すでに絶滅したとされる生物には、ニホンオオカミがあげられます。1905年に奈良県東吉野村で捕らえられたのを最後に発見されていません。関東地方の農家に見られる盗難よけ・火難よけのお札には、黒い獣が描かれたものがありますが、これはニホンオオカミだといわれています。ニホンオオカミはかつて関東の山々にも生息しており、イノシシやシカなどの[]動物を食べたことから、農家にとっては盗難よけ、後には火難よけの効力も加わって、神としてあがめられてきたと想像されています。

①山には川の源流があり、その川の水を利用して人々は稲作を営んできました。川は海に注ぎ、豊かな漁場を育てます。ニホンオオカミやニホンカワウソの絶滅は、明らかに山や川と私たちとの関係が変わってきたことを意味しているのではないのでしょうか。

②一方、日本ではすでに絶滅していた生物が中国から贈られ、人工繁殖が行われていましたが、その一部が昨年、新潟県の佐渡島で初めて野生のもとでの繁殖に成功しました。佐渡島ではこの生物の生活環境を整えるため、③農業に頼らない水田作りをすすめるなど、努力をしています。

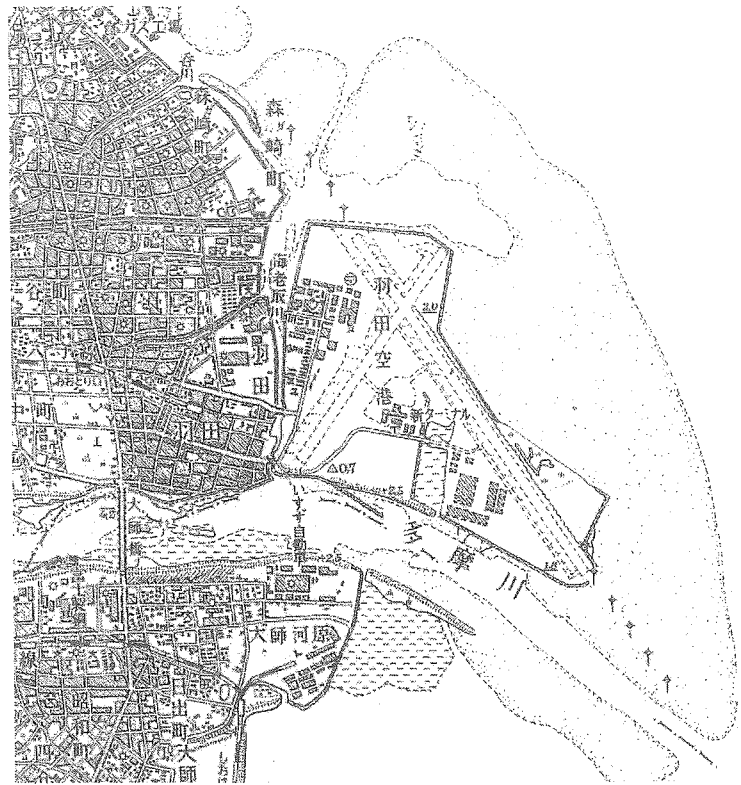
また、2010年には、すでに絶滅したと考えられていたクニマスが、富士五湖の1つである西湖（山梨県）で発見され、大きな話題となりました。クニマスは、もともと秋田県の田沢湖にしか生息していませんでしたが、1935年、田沢湖からいくつかの湖に卵がおくられていました。西湖もその1つでした。ニホンカワウソもこのクニマスのようにいつか発見されることを願いつつ、私たちも山や川、そこに住む生物との共存の道を探っていかなければなりません。

問1 ニホンオオカミが農家であがめられるようになった理由を考えて、文中の[]に入る短文を答えなさい。

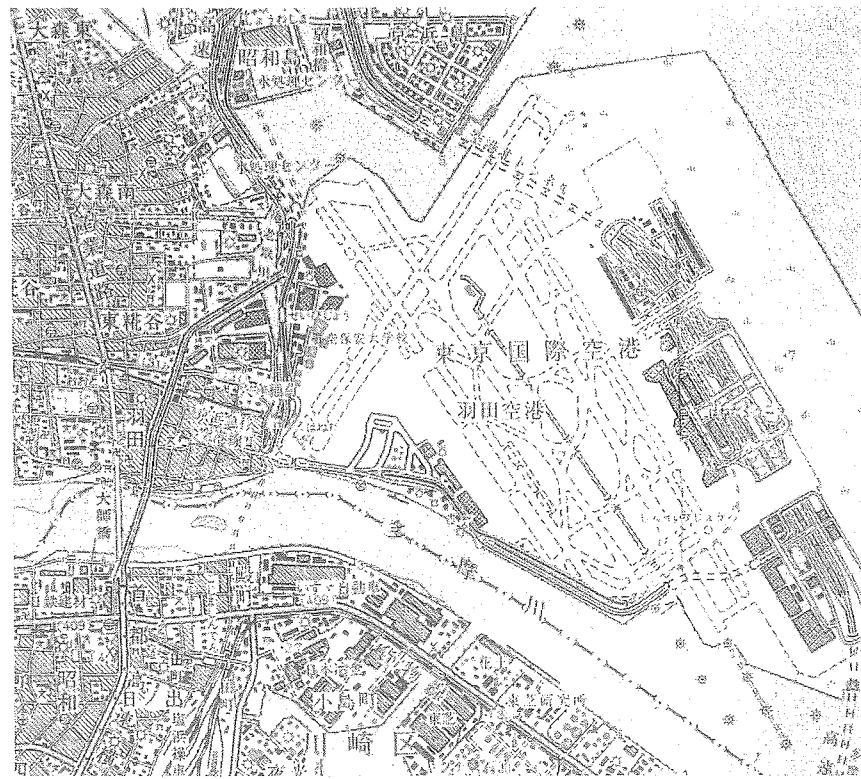
問2 下線①について、東京都と神奈川県の間には東京都・山梨県・埼玉県にまたがる山々を水源とする多摩川が流れています。この川から江戸時代に引かれた水路によって江戸の人々の飲料水が確保され、また、武蔵野に田畑が広がっていきました。この水路の名前を答えなさい。

問3 下の2枚の地図は、1955年と1995年の多摩川の河口の地図です。これらの地図を比較してわかることのうち、誤っているものを次の中から1つ選び、記号で答えなさい。

1955年



1995年



※地図はともに、『地図で見る東京の変遷（平成改訂版）』（財団法人日本地図センター 平成8年発行）より

※2枚の地図は同じ縮尺です。

- ア. 東京国際空港（羽田空港）に通じる道路や、交通機関が増えました。
- イ. 河口の、砂が積もった場所を埋め立てて東京国際空港（羽田空港）がつくられました。
- ウ. 都心への移動をより便利にするため、東京国際空港（羽田空港）は、海側よりも陸地側へ拡張されました。
- エ. 河口付近の右岸、神奈川県川崎市側も埋め立てられ、工場がつけられました。ここは海に面した立地を生かし、工業地帯として発展しました。

問4 下線②の生物は何ですか。

問5 下線③には、問4の生物のえさを確保しようというねらいがあります。水田に生きる生物として誤っているものを次の中から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. ドジョウ イ. タニシ ウ. カエル エ. ハマグリ

問6 2011年、小笠原諸島が世界自然遺産に登録されました。日本には現在、このほかに世界自然遺産登録地が3か所あります。それらの名称を答え、それぞれの場所を下の地図から選び、記号で答えなさい。



2. 次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。

歴史をひもとくうえで私たちはいろいろなものから、情報を読み取ります。①後世に残す記録をはじめするには、文字がなくてはなりません。文字が入ってくる前の日本の歴史を知るには、②残されたいろいろなものからその時代の生活を考えるか、③日本以外の国の記録に頼るしかありません。

日本で文字が使われだしたのは、古墳時代です。大陸から仏教などとともに漢字が入ってきました。それ以降、律令国家体制がつくられていく中で朝廷内の記録文書は漢文で表記されるようになり、飛鳥時代後期にはその影響を受けて漢詩文をつくる人もあらわれました。一方、漢字の意味にとらわれず、音訓を上手にくみあわせて日本語を表現する④万葉がなも登場し、日本語を漢字で表現するようになったといわれています。平安時代になると、遣唐使の廃止とともに日本独自の文化が生まれ、⑤ひらがなやカタカナといった文字が使われるようになりました。さらに⑥江戸時代後期、日本が開国し欧米との通商が始まるとローマ字も使われるようになりました。

このように記録の残し方は、時代の移り変わりとともに大きく変わっていきました。文字の記録だけでなく、⑦風刺画が描かれたり、⑧写真の発明とともに画像として記録できるようになったり、時代が進むにつれて多くの情報が残されるようになりました。現代では絵や文字、写真の他にも□として多くの場面が記録されています。

われわれが今過ごしている時間も未来には歴史の一部に変わっていきます。情報を後世に伝える手段が向上するとともに、少ない情報の中から真実を読み取り、その時代に思いをめぐらせ、想像する楽しみが減ってしまうことは少し寂しい気がします。これからどのような情報保存の技術が開発されるのか。また、未来の人々はわれわれの残す情報からどのようなことを読み取り、何に思いをめぐらせるのでしょうか。

問1 下線①について、日本の歴史をひもとくうえで資料は大切です。現在確認できる日本最古の歴史書を答えなさい。

問2 下線②について、次の問いに答えなさい。

(1) 下の写真は上空からある遺跡を写したものです。この遺跡の説明として誤っているものを次の中から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 強大な権力を持った人物がいた
- イ. このような形の古墳を前方後円墳とよぶ
- ウ. 中に埋められたものから、当時使っていた道具がわかる
- エ. 外敵の侵入に備え、防衛拠点をつくっていた



(2) 次の写真はそれぞれ、A唐の貴族の墓室、B高句麗の古墳、C日本の高松塚古墳に描かれた壁画です。これらの壁画から読み取れることをもとに、どのようなことが考えられるか答えなさい。

A



B



C



問3 下線③について、卓弥呼の存在を確認するうえで重要な書物を次の中から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 『漢書』地理志
- イ. 『後漢書』東夷伝
- ウ. 『魏志』倭人伝
- エ. 『古今和歌集』

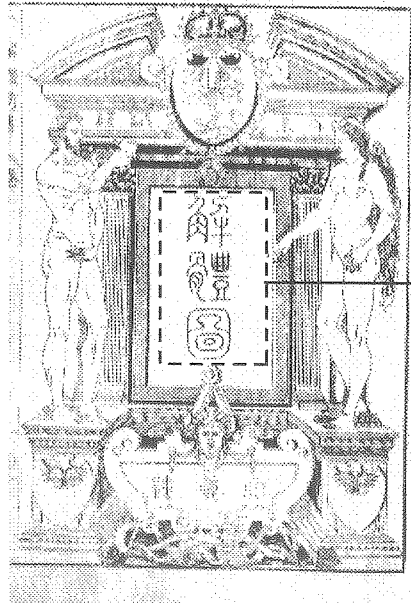
問4 下線④が使用された『万葉集』には、奈良時代後期までに作られた和歌が収められています。その中の作者として正しいものを次の中から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 与謝野晶子
- イ. 柿本人麻呂
- ウ. 藤原定家
- エ. 松尾芭蕉

問5 下線⑤について、平安時代に次の地図の地点を旅したようすを女性が書いたように装って、かな文字で日記を書いたのは誰ですか。



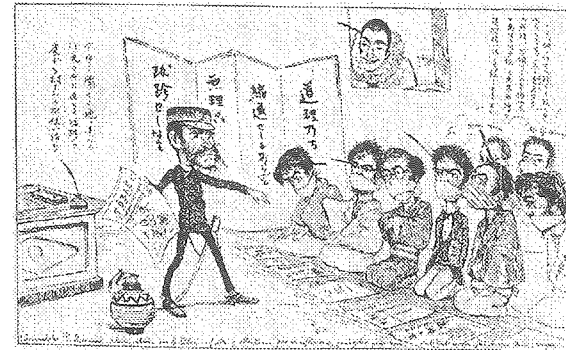
問6 下線⑥の頃、多くの蘭学者が活躍しました。次の写真の書物の翻訳に携わった人を一人答えなさい。



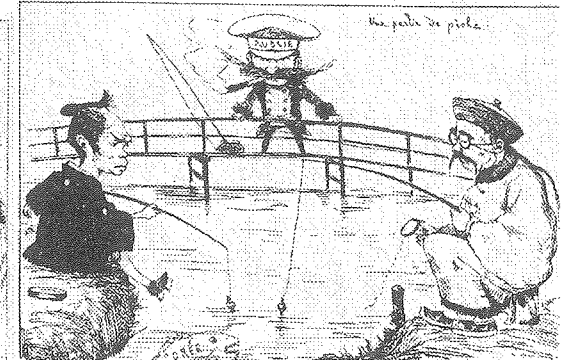
解体図
(解体図)

問7 下線⑦について、次のA・Bの風刺画の説明として、誤っているものを次の中から1つ選び、記号で答えなさい。

A



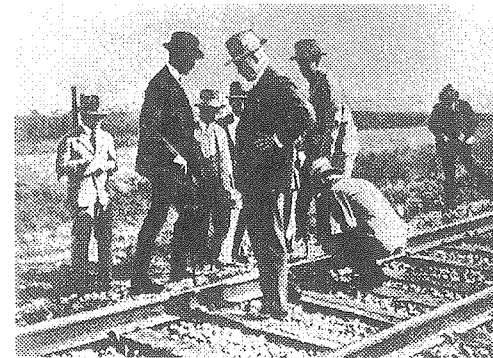
B



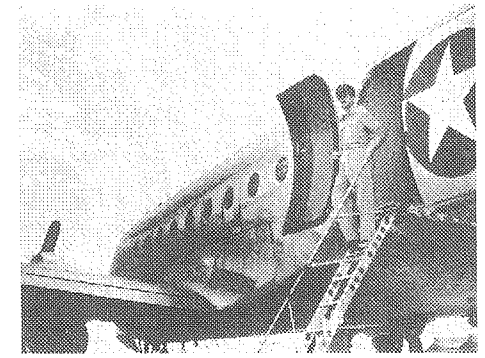
- ア. Aは自由民権運動の弾圧について描いている
- イ. Bは漁夫の利を狙うドイツのようすを描いている
- ウ. どちらの作品もビゴーというフランス人が描いている
- エ. どちらの作品も明治時代に描かれている

問8 下線⑧について、次のア～エの写真は1931年から1946年までのものです。これらを古い順に並べなさい。

ア



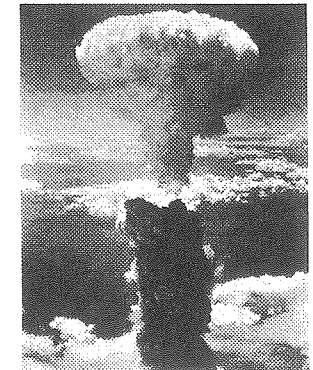
イ



ウ



エ



問9 文中の□にはそれまでの記録とは違う性質のものが入ります。適切だと思う言葉を考えて、答えなさい。

3. 香蘭女学校には、夏の校外活動の1つに、広島での平和学習があります。次の文章は、広島市長（当時）の秋葉忠利さんが行った演説の一部を小学生向けに改めたものです。これを読んで、以下の問いに答えなさい。

問題は以上で終わりです

①

（前略）このように、核兵器廃絶の緊急性は世界に広まっており、世界中の人々の声が国際社会を動かしつつあります。

こうした時期に、核兵器のない世界を実現するために必要なのは、被爆者の願いをそのまま世界に伝えて被爆者の気持ちと世界との距離を縮めることです。今日まで核兵器が人類を滅ぼさなかったのは私たちが賢かったからではなく、運が良かっただけなのです。

②

今こそ、日本国政府の出番です。核兵器廃絶に向けて先頭に立つために、まずは、非核三原則をきちんと法で定め、「核の傘」（注1）からの離脱、そして「黒い雨降雨地域」（注2）の拡大などさまざまな政策の実現と、高齢化した世界すべての被爆者にきめ細かく優しい支援策を実現すべきです。

また、内閣総理大臣が、被爆者の願いを真剣に受け止め自ら行動してこそ、「核兵器ゼロ」の世界を創りだし、人類の新たな1ページを開くことが可能になります。核保有国の首脳に核兵器廃絶の緊急性を訴え、すべての国に核兵器など軍事関連予算の削減を求めると、そのために出来ることは無限にあります。

私たち市民や都市も行動します。先月、志を同じくする国々やNGO、国連などと協力して、この都市で「2020 核廃絶広島会議」を開きました。そこで採択した「ヒロシマ アピール」に沿って、2020年までの核兵器廃絶のためさらに大きな運動をしていきます。

③

最後に、被爆65周年の本日、原爆犠牲者の御霊に心から哀しみといたわりの気持を捧げます。世界中の、今まで我慢してきた被爆者にこれ以上の忍耐を強いてはならないこと、そして、全ての被爆者が「生きていて良かった」と心から喜べる、核兵器のない世界を一日も早く実現することこそ、私たち人類に課せられた最も重大な責務であることをここに宣言します。

注1：アメリカ合衆国による核の保護を指す。

注2：原爆投下後、放射性物質とともに降った「黒い雨」による健康被害をめぐり、黒い雨が降ったと認められた地域には、国から健康診断などの支援が行われている。

問1 この演説はいつ行われたものですか。下線部を参考に、西暦年および月日を答えなさい。

問2 ①～③の文章のまとまりのうち、あなたが大切だと思うものを選んで、その理由を100字程度で説明しなさい（①～③どれを選んでかまいません）。

